

MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2025.12.27

第 1182 回放送分『肺高血圧症』4回目

ゲスト：窪田 佳代子ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「肺高血圧症」をテーマにお送りしています。

お話しは、鹿児島県医師会 窪田 佳代子（くぼた かよこ）ドクターです。

窪田さん、最終週もよろしくお願ひいたします。

窪田佳代子Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、肺高血圧症の原因の一つで、

肺動脈自体に原因がある肺動脈性肺高血圧症、PAHについて

お話しいただきました。こちらは難病に認定されています。

そして肺高血圧症の原因は5つあるとのことです、

もう一つ難病に認定されているということでしたよね。

窪田佳代子Dr.

はい。もう一つは、慢性的に肺動脈の中に血栓が詰まっていることが原因でおきる

慢性血栓塞栓性肺高血圧症という病気です。CTEPHあるいはシーテフと呼ばれています。

二見いすず

少し長い病名ですが、区切ってみると分かりますね。

慢性、血栓、塞栓性、肺高血圧症。

「塞栓」というのはどういう意味なのでしょうか？

窪田佳代子Dr.

塞栓というのは、血流内に外部から入った異物、または血管内に生じた血栓が血液の流れにのって他の臓器に運ばれ、血管を閉塞することをいいます。この病気は多くの場合、足の静脈という血管内にできた血栓が飛んで肺動脈に流れ着いて、そこにだんだん積もって血液の流れを堰き止めてしまいます。

二見いすず

慢性血栓塞栓性肺高血圧症の治療は、どのようなことをするのでしょうか？

窪田佳代子Dr.

血液がサラサラになる薬は皆さんに飲んでいただきます。あとは、肺動脈に詰まった血栓の場所によって治療が異なります。肺動脈の根元に近い部分にたくさん詰まっている場合は、手術で直接血栓を取り除きますが、日本人は肺動脈の先端の方にたくさん血栓が詰まっているケースが多く、その場合はカテーテルで、血管の中を風船で広げて血液を流れやすくする治療を行います。

二見いすゞ

そこで血栓を取り除くわけではないのですか？

窪田佳代子Dr.

はい。肺動脈内の血液の流れが回復するだけで、心臓への負担がすごく軽くなって元気になるんです。
実は 2011 年からこのカテーテル治療を行っていますが、これまで
慢性血栓塞栓性肺高血圧症が原因で亡くなった方はいらっしゃいません。

二見いすゞ

そうなんですね。血液の流れを回復させるカテーテル治療がとても効果的なんですね。
さて、1週目から肺高血圧症についてお伝えしてまいりましたが、
やはり初期の段階で自分の体の変化に気づけることが、大切ですね。

窪田佳代子Dr.

そうですね。息切れなどがある場合は、
循環器を標榜している病院を受診することも大切ということを
覚えておいていただきたいです。

二見いすゞ

よく分かりました。
今月は、「肺高血圧症」をテーマに
鹿児島県医師会 窪田 佳代子ドクターに貴重なお話をさせていただきました。
窪田さん、ありがとうございました。

窪田佳代子Dr.

ありがとうございました。